

すこやか

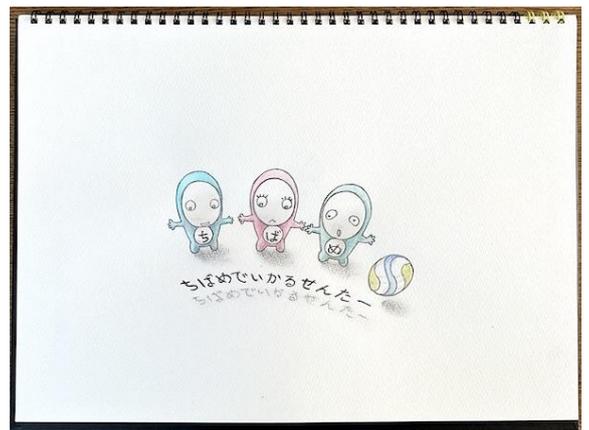
「信頼と共創」 — 永続的で誰一人取り残すことのない医療を目指して —



生成AIの進化はすさまじく、世の中には驚くほど精緻なフェイク画像が溢れています。そんな世の中に対抗して、ただの画用紙と鉛筆を使って、手描きのトリックアートに挑戦してみました。

出来上がりを想像して歪めた絵を画用紙に描きます。失敗を繰り返しながら、なんとか完成。（右図）次に、最も立体的に見える視線を探して写真に撮ります。鉛筆などの小物を添えると、立体感が一層引き立ちます。（上図）

頭の中でいろいろ想像して描くので、究極の脳トレかもしれません。



今春、新たに76名の職員が入職しました

令和7年4月1日より、新たに76名の職員が入職しました。

(医師22名、研修医8名、看護師29名、コメディカル16名、事務員1名)



福田院長から、訓示の中で「切磋琢磨」という言葉が新入職員に贈られました。

「切磋琢磨という言葉は、仲間同士でしのぎを削って向上するという意味に使われますが、本来は、切する（切り刻む）、磋する（研ぐ）、琢する（打つ）、磨する（磨く）という象牙や玉などの加工技法のことです。すなわち、原石のままではあまり価値がないけれど、優れた加工が施されることでより価値のあるものになる。そして、素材に適した加工技法を用いることが大切であるということです。人間も同じです。一人ひとりに合ったやり方で磨かれることで、初めてその人の真価が発揮されるのです。」

当院は、昨年11月に地域医療支援病院の承認を得ました。地域に根差した病院を目指し、新しい仲間とともに、これからも切磋琢磨を続けていきます。



リハビリテーション部 SNSのご案内

このたび、リハビリテーション部ではSNSの運用を開始しました。

当院のリハビリテーションに関わる情報を配信していきますので、是非ご利用ください。

■LINE

スポーツ医学運動器障害勉強会（当院スタッフによる症例報告や研究に関するプレゼンテーション）の開催予定日などを配信しています。

■Facebook

学会参加や発表など当院リハビリスタッフの活動があった際に配信しています。スポーツ医学に興味がある方は、是非ご覧ください。



Facebook

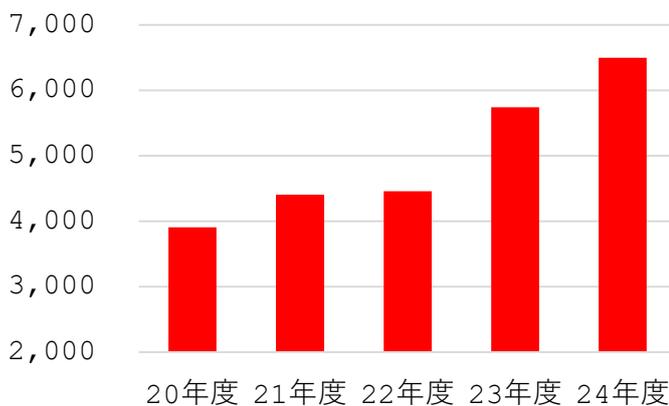


救急医療の現状と病院救急車の運用開始

千葉市が公表した2024年の救急車の出動件数は、69,430件（一日約190件の出動）で過去最多となりました。出動件数が過去最多を更新するのは3年連続です。直近10年間で30%増加しており、今後も増加し続けると予測されています。

このような状況に対応するために、当院も2年前から救急医療部門の強化を進めてきました。2024年度の救急車の受け入れ件数は6,000件を超え、6,498件と過去最高になり、今年度は7,000件を超える見込みです。（下図）救急外来では、2名の救急科常勤医師を中心に、救急救命士や看護師たちが、24時間365日、懸命に診療にあたっています。

当院の救急車受け入れ件数の推移



救急外来には4つ救急処置室の他に、経過観察室や診察室などを備えています。

千葉市では、救急車の全出動件数のうち約8%が、医療機関から他の医療機関への転院搬送に使用されています。これは、大都市比較でワースト5位となる数値で、市内の救急車が逼迫する一因となっています。この問題に対処するために、転院搬送を出来るだけ自分たちで行っていかうと搬送車両の整備、搬送スタッフの確保、搬送先医療機関との連携などを進め、この4月より運用を開始しました。



病院救急車（左）と患者搬送を担う救急救命士の面々（右）

医療連携の会（バイサイドフォーラム）の開催

令和7年3月13日に、当院会議室にて「千葉メディカルセンターバイサイドフォーラム」を開催しました。今回は、脳神経外科から以下の2症例が提示され、院外の先生方を交えて活発な討論が行われました。

- 松宮 啓護先生（脳神経外科）
「ワーファリン服用中の中和を要した急性硬膜下血腫の1例」
- 富田 栄幸先生（脳神経外科）
「眼症状で発症し、手術となった脳外科疾患あれこれ」

症例発表の間にはコーヒープレイクタイムが設けられ、当院医師等スタッフが、地域医療機関との先生方との懇親を深めました。



つばめ保育園Soga はじめての卒園式

昨年8月に開園した認可保育園「つばめ保育園Soga」にて、この春、はじめての卒園式が行われました。当日は、華やかな装飾のもと、明るく楽しい式になりました。子ども達からも先生方へのサプライズプレゼントがあり、とても感動的な1日となりました。

これからも明るく元気に成長していきましょう。



編集後記

今年度より、「すこやか」のどこかに『ちばめ三兄弟』が登場します。当院 福田院長の手から生まれた三兄弟、皆さんの役に立つ情報を一緒にお届けしていきます。ちばめ三兄弟の誕生秘話はまたどこかで。(今後乞うご期待)

「すこやか」vol. 47 2025年5月12日発行

医療法人社団 誠馨会 千葉メディカルセンター
〒260-0842 千葉市中央区南町1丁目7番1号
TEL 043(261)5111(代表)

URL <http://www.seikeikai-cmc.jp>

編集・発行責任 千葉メディカルセンター広報委員会